

# 2025年度年間指導計画

園長	主任	記録者
		高橋虹絵 梶本加菜

## 【0歳児】

年間目標 (育てたい子ども)	・保育者等の愛情豊かな受容のもとで、生理的・心理的欲求を満たし、心地よく生活する力の基礎を培う。 ・特定の保育者や身近な人と共に過ごす喜びを感じ、表情や発声などにより気持ちを通わせ、愛情や信頼感が芽生える。 ・個人差に留意した、離乳の完成、歩行の開始、言葉の発生を助ける。 ・見る、聞く、触れる等の経験をを通して身の回りのものに対する興味や好奇心を		園目標	・元気で明るい子(たっぷり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る) ・意欲を持って行動できる子(十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育てる)	評価・反省							
	期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)							
行事	入園式、誕生会、こいのぼり集会、内科健診、避難訓練		懇談会、誕生会、水遊び、七夕、夏祭り、歯科健診、避難訓練		誕生会、運動会、ハロウィン、内科健診、クリスマス会、避難訓練		誕生会、節分、生活発表会、ひな祭り、お別れ会、卒園式、避難訓練					
ねらい	・家庭との連携を図りながらひとりひとりの生活リズムを大切に保育者との十分な触れ合いの中で安心して過ごす。 ・ずりばい、ハイハイ、つかまり立ちなどそれぞれの全身運動を十分楽しむ。 ・健康的で安全な環境の中で気持ちよく過ごす。 ・保育士に慣れ、親しみを持てるようになる。		・水温や気温に留意し一人ひとりの体調を把握しながら沐浴や水遊びを行う。 ・水や泥で遊ぶ中で「ひんやり」「柔らかい」「ドロドロ」などの様々な感触を味わう。 ・季節の歌やわらべ歌、手遊びを喜んで聴き、体を揺らしたり保育者の模倣をしたりして楽しむ。 ・保育者に気持ちを受け入れてもらい、ゆったりとした気持ちで過ごす。		・共感的なコミュニケーションを通じて、発語の意欲を持つ。 ・気候や体調に留意し戸外遊びや散歩に出掛け自然物に触れ、興味を持つ。 ・登る、降りる、くぐる、渡るなど身体を十分に動かす事を楽しむ。 ・季節の歌やわらべ歌、手遊びを喜んで聴き、体を揺らしたり保育者の模倣をしたりして楽しむ。		・片言やしぐさで自分の思いを伝えようとする。 ・季節の歌やわらべ歌手遊び等を喜んで聴き、体を揺らしたり保育者を模倣したりして楽しむ。 ・寒い冬を健康に過ごす。 ・登る、降りる、くぐる、渡るなど身体を十分に動かす事を楽しむ。					
年齢・月齢	3ヶ月～6ヶ月		6ヶ月～10ヶ月未満		9ヶ月～12ヶ月未満		1歳～1歳3ヶ月		1歳3ヶ月～2歳未満			
養護	生命 情緒	・特定保育者の十分な関わりにより安心して過ごす。 ・保育者に抱きしめられたり見守られたりしながら一定時間安心して眠る。 ・生理的欲求が満たされ心身ともに安定した気持ちで過ごす。 ・1人ひとりの生活のリズムを把握し、安定を図る。		・保育者に見守られながらぐっすりと眠れるようになる。 ・オムツが濡れていたらかまめに取り替えてもらい気持ち良さを感じる。 ・家庭の食べ進み具合を見ながら離乳食を無理なく進めている。 ・安心して保育者のもとで、園生活に慣れ情緒が安定する。		・食べ物に興味を持ち手を伸ばしたり食材を握ってみたり食べたい意欲を持つ。 ・安定した生活リズムの中で保育者が生理的欲求を満たすことで心地よく過ごす。 ・保育者に甘えたい気持ちを受けてもらい安心して過ごす。		・手づかみやスプーンを使い自分で口に持っていき食べようとする。 ・保護者に抱いたりほほ笑みかけたりしてもらい甘えなどの依存欲求を満たしてもらい情緒が安定する。		・喜んで食事しようとし、スプーンを上握りや下握りで持って食べようとする。 ・信頼できる保育者との関係の中で甘えたり喜んだり怒ったりと様々な感情を安心して表現する。 ・自分の欲求をしぐさや言葉で伝えようとする。 ・自分でしたいという気持ちを大切に、意欲的に生活できるようにする。		
		三つの視点	・仰向けや腹ばいの姿になり見たり触ったりすることで周りに興味を示す。 ・体調や機嫌に合わせて散歩に行くなど外気に触れ風や音などを感じる。 ・特定の保育者に愛着を持つようになり語りかけてもらうと声を出したり笑顔を見せたりする。 ・目についた玩具に手を伸ばしつかんで振ったり手足を動かす。 ・保育者に優しく声をかけてもらいながらオムツ交換してもらい、さっぱりした気持ち良さを知る。 ・保育者との触れあい遊びや手遊び等で、歌に合わせて手足や体を動かして遊ぶ。		・歌や手遊びなどを喜び体を揺らしたり手を叩いてみたりする。 ・落ち着いた雰囲気の中絵本を読んでもらったり語りかけてもらう事を楽しむ。 ・喃語に込められている要求や気持ちを受け止めてもらい安心した気持ちで過ごすことが出来る。 ・気になる物や好きな玩具まで、ずりばいやハイハイなどで移動し活動範囲を広げていく。 ・目についた玩具に手を伸ばしてつかんで振ったり手足を動かす。又、落としたりして遊ぶことも楽しむ。 ・保育者に見守られる中で、興味のある玩具や身の回りのもので一人遊びを楽しむ。		・保育者のやることに興味を持ち、手遊びや模倣をしたりしながら、指さしや喃語を発して保育者とのやりとりを楽しむ。 ・自分の身の周りのものに興味を示し活発に探索活動をする。 ・保育者と一緒に絵本を見ながら簡単な言葉の繰り返しを楽しむ。 ・ハイハイやつかまり立ち、伝い歩き等、できる運動能力で移動したり体位により見える視界の違いを楽しむ。 ・様々な素材(砂・水・小麦粉・粘土等)に触れ、感触遊びを楽しむ。 ・歌や音楽に興味を持ち、リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ・戸外や散歩に行くことを喜び、解放感を味わう。 ・ゆったりと遊べる環境の中で保育者と一緒に楽しさを共感し喜ぶ。 ・物を持つ、つまむ、引っ張るなどしながら、探索を楽しむ。 ・安心出来る保育者の見守りの中で一人遊びを十分に楽しむ。 ・触れあい遊びや手遊び等で、歌に合わせて手足や体を動かして遊ぶ。		健康 人間関係 環境 言葉 表現		・意欲や興味に合わせてオマルに座ってみる。 ・つまむ、叩く、入れる、引っ張るなど指先や手を使って遊ぶ。 ・友だちへの関心が現れ同じことをしようとしたり物の取り合いをしたりする。 ・自然物に興味を示し握ったり感触を楽しむ。 ・ハイハイや伝い歩き・歩行など探索活動が盛んになり、周りへの関心が高まる。 ・保育者の語り掛けに喃語を発し、応答してもらう事を楽しんだり簡単な一語文を言ったりする。 ・様々な素材(砂・水・小麦粉・粘土等)に触れ、感触遊びを楽しむ。 ・絵本の読み聞かせなどを通して、言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵の具や新聞、花紙、スライムなど素材の感触を楽しんだり、色の違いを見て楽しむ。 ・保育者の歌や手遊びに合わせて、体を動かすことを楽しむ。 ・保育者や友だちとごっこ遊びや模倣遊びを楽しむ。	
環境配慮	・登園時保護者から聞き取りを行いひとりひとりの体調や家庭での様子を把握していく。 ・子どもの機嫌良く過ごせる時間帯や授乳の時間を把握し安定して過ごせる様にする。 ・オムツが汚れたら優しく言葉を掛け、こまめに取り替える。		・登園時保護者から聞き取りを行いひとりひとりの体調や家庭での様子を把握していく。 ・玩具や手の届く場所はこまめに消毒を行い衛生的で安全な環境を整える。 ・月齢に合った玩具を用意し誤飲が心配な玩具は取り除く。 ・ゆったりとした雰囲気の中で歌やリズムの歌などを歌い、優しく揺らしたりしながら心地良い時間を過ごせるようにする。		・登園時保護者から聞き取りを行いひとりひとりの体調や家庭での様子を把握していく。 ・活動範囲が広がり活発に動くようになるので目を離さずに保育者が傍につき怪我や事故を防ぐ。 ・子ども一人ひとりの表情や声などの表し方を理解し、共感し受け入れながら安心して過ごせるようにする。		環境構成		・登園時保護者から聞き取りを行いひとりひとりの体調や家庭での様子を把握していく。 ・戸外では個々の様子を見ながら安全に十分留意し、戸外で過ごす気持ち良さや楽しさを感じられる様にする。 ・玩具や環境を整え、一人遊びが十分に楽しめるようにする。 ・喃語や身振りに対して応答的に関わり、心地良さを感じられるようにする。		・登園時保護者から聞き取りを行いひとりひとりの体調や家庭での様子を把握していく。 ・戸外では個々の様子を見ながら安全に十分留意し、戸外で過ごす気持ち良さや楽しさを感じられる様にする。 ・友達への関心が強まり気持ちのぶつかり合いや玩具の取り合い、噛みつきなどが、出てくるので傍につき怪我につながらないよう防いだり、玩具の数を調整したりする。 ・絵本の読み聞かせをしたり、子ども一人ひとりの気持ちを言葉にしたりして言葉の	
支援者	・園での様子をこまめに伝えたり保護者の思いを受け止め家庭と連携する。 ・出来るようになったことや友だちと遊んでいる様子を伝え成長を喜びあう。 ・季節に合った服装を用意してもらう。 ・食材チェックやミルクでの授乳等家庭で積極的に行ってもらう様子を共有し連携する。						支援者		・思い通りにいかなかったときの噛みつきやひっかきを未然に防ぐ為に、環境設定を配慮している事などを伝え、保護者が不安にならないようにする。 ・感染症にかかりやすくなるため、健康状態について連絡を密に取り合う。 ・次年度に向けての取り組みについて伝え、共有する。			
食育	・落ちついた雰囲気の中で目を合わせながら授乳を行う。 ・一人一人に合った離乳食を用意してもらいゆっくりと丁寧に食べさせてもらう。		・子どもの咀嚼などの発達に応じて食品の種類、量、大きさ、固さなどを配慮し徐々に進めていく。 ・一人一人の食べるペースに合わせて丁寧に関わる。 ・離乳食を「段々と食べ進めていく中で様々な素材に触れ、食べることを楽しむ。		・離乳食や普通食を喜んで食べ、いろいろな食材を味わう経験を通して自分から進んで食べていけるように促す。 ・一人ひとりに合わせて、スプーンや手づかみで食べることを経験できるようにする。 ・食事や前後や衣服が汚れた際は、顔や手を拭いてもらったりし、きれいになった心地よさを味わう。 ・自ら食事に向かい、喜んで食べる。		食育		・食べ物に興味を持ち、スプーンやフォークで意欲的に食べられる様に工夫していく。 ・保育者と一緒に食べる楽しさを味わいながら色々な食材に親しめる様にする。 ・自ら食事に向かい、喜んで食べる。		・簡単なマナーなどを丁寧に知らせていく。 ・個々の様子に合わせて苦手なものでも食べてみようとする。 ・自ら食事に向かい喜んで食べる。	